

## 平成29・30年度 事業目標、抱負について

新しい年度が始まりました。新入生勧誘活動の成果もあり、それぞれの高等学校において、新入部員を獲得したとの嬉しい報告も受けております。しかし、高校の現状としては多くの課題を抱えています。少子化の影響によるクラブ加入率の低下、専門性ある顧問の絶対数の少なさ、学校の方針転換などによって伝統校が休部や廃部になる事態等、今後のクラブ存続が危ぶまれる材料が見受けられます。

初めて日本拳法に出会った者、幼少時より拳法を続けて高校でも続ける者、それぞれが日本拳法の修練を通して、人間的に大きく成長してもらいたいというのが指導者の思いです。そのためにも、高校連盟は少年連盟・学生連盟・社会人連盟との連携を密にして、少年拳士が高校でも日本拳法を続け、高校で日本拳法を始めた者が大学や道場でも日本拳法を続けたいと思ってくれるようなパイプ役を果たしていかなければならないと感じます。また、日体協加盟の動きが加速していると聞きますが、日本拳法の裾野を広げ(ボトムアップ)、頂を高くする(レベルアップ)には一日も早い日体協加盟が望まれます。その実現に向け高校連盟としても全面的に協力したいと考えています。そのための方策として、指導者講習や審判講習等を実施して、指導者の技量向上と意識向上を目指したいと考えています。

全国高等学校日本拳法連盟(JHNKF)主催の全国選手権大会が、本年度の大会で第62回を数えます。長い歴史の中で様々なドラマが生まれ、今尚感動を与えてくれるのは、高校生が純粋に活動している証拠です。今後も高校連盟は、各種講習会や研修会の実施を通して、彼らが力一杯に活動できるよう、指導者と組織のレベルアップに尽力していきたいと考えております。

高校連盟部長 橋岡 典昭